

## 2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は肉類の値上がりなどにより0.4%上昇、光熱・水道は電気代の値上がりなどにより0.5%上昇、家具・家事用品は家庭用耐久財の値上がりなどにより3.6%の上昇、被服及び履物は衣料の値上がりなどにより0.1%の上昇、教養娯楽は教養娯楽サービスの値上がりなどにより1.2%上昇、諸雑費はたばこの値上がりなどにより1.3%上昇した。

一方、住居は家賃の値下がりなどにより0.2%下落、保健医療は保健医療用品・器具などの値下がりなどにより0.3%下落、交通・通信は通信の値下がりなどにより5.9%の下落、教育は授業料等の値下がりなどにより0.4%下落した。

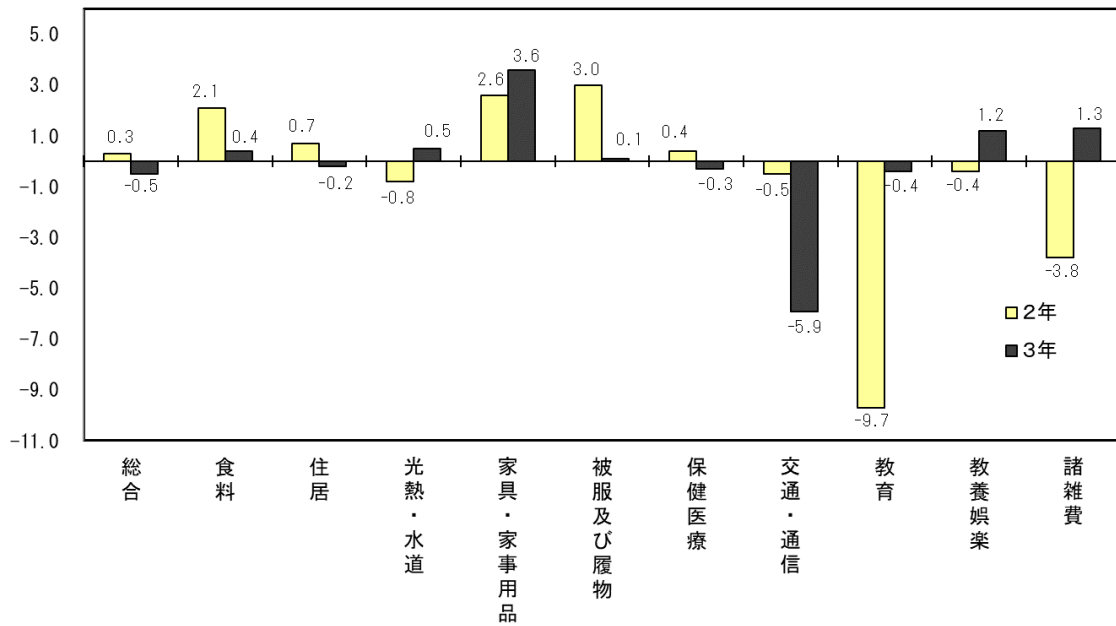
10大費目指数	令和2年=100			
	前年比(%)		寄与度	
	2年	3年	2年	3年
総合	0.3	-0.5		
食料	2.1	0.4	-	0.11
住居	0.7	-0.2	-	-0.05
光熱・水道	-0.8	0.5	-	0.04
家具・家事用品	2.6	3.6	-	0.15
被服及び履物	3.0	0.1	-	-
保健医療	0.4	-0.3	-	-0.02
交通・通信	-0.5	-5.9	-	-0.92
教育	-9.7	-0.4	-	-0.01
教養娯楽	-0.4	1.2	-	0.11
諸雑費	-3.8	1.3	-	0.09

### ※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度寄与したかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

